

介護ロボット SASUKE 大分豊寿苑に登場!

豊寿苑だより

大分豊寿苑新聞(11月号)
平成28年12月1日



利用者さんも快適!



団塊の世代が後期高齢者になる二〇二五年には介護人材が全国で約37・7万人、大分県でも一二〇〇人もの人材が不足するとされています。この為、キツイとされている介護現場での負担減を実現させる介護ロボットが今注目されています。

介護業務の中でも肉体的に介護者に負担が大きいとされているのが「移乗」ではないでしょうか。ベッドから車イスへの移乗やトイレの便座から車イスへの移乗など、一人一人を抱えて異動させる作業は介護者の腰や肩などに大きな負担を与えます。また介助される側も移乗の際に体をぶつけるなどのリスクが常にあります。

介護ロボットSASUKEサスケはこの問題を解決します。

介護者は簡単な操作のみでアームを動かして移乗を行います。

利用者は無理な体動なく移乗を行えるのでお互い少ない負担で行えます。

大分豊寿苑ではこの様な介護ロボット技術などを取り入れる事でこれからも利用者様、介護者共により良い環境作りに努めます。


シルバー川柳コーナー

シルバー川柳コーナー!
自分の川柳を掲載希望の方は
療養棟職員まで!

厚化粧
笑う亭主は
薄毛症



万歩計
半分以上
さがしもの



うす味を
愛だと知った
40年

